

# ジェイコー サウルス 通信

## CONTENTS

福井勝山総合病院開設80周年記念記事  
…… 2・3

耳鼻科ナースが伝授する花粉症対策… 4

March. 2026

Vol. 35



## 開設80周年を迎えます



独立行政法人地域医療機能推進機構

### JCHO福井勝山総合病院

#### 病 院 の 理 念

地域に根ざし、地域から愛される病院  
『親切』『信頼』『進歩』

#### 基 本 方 針

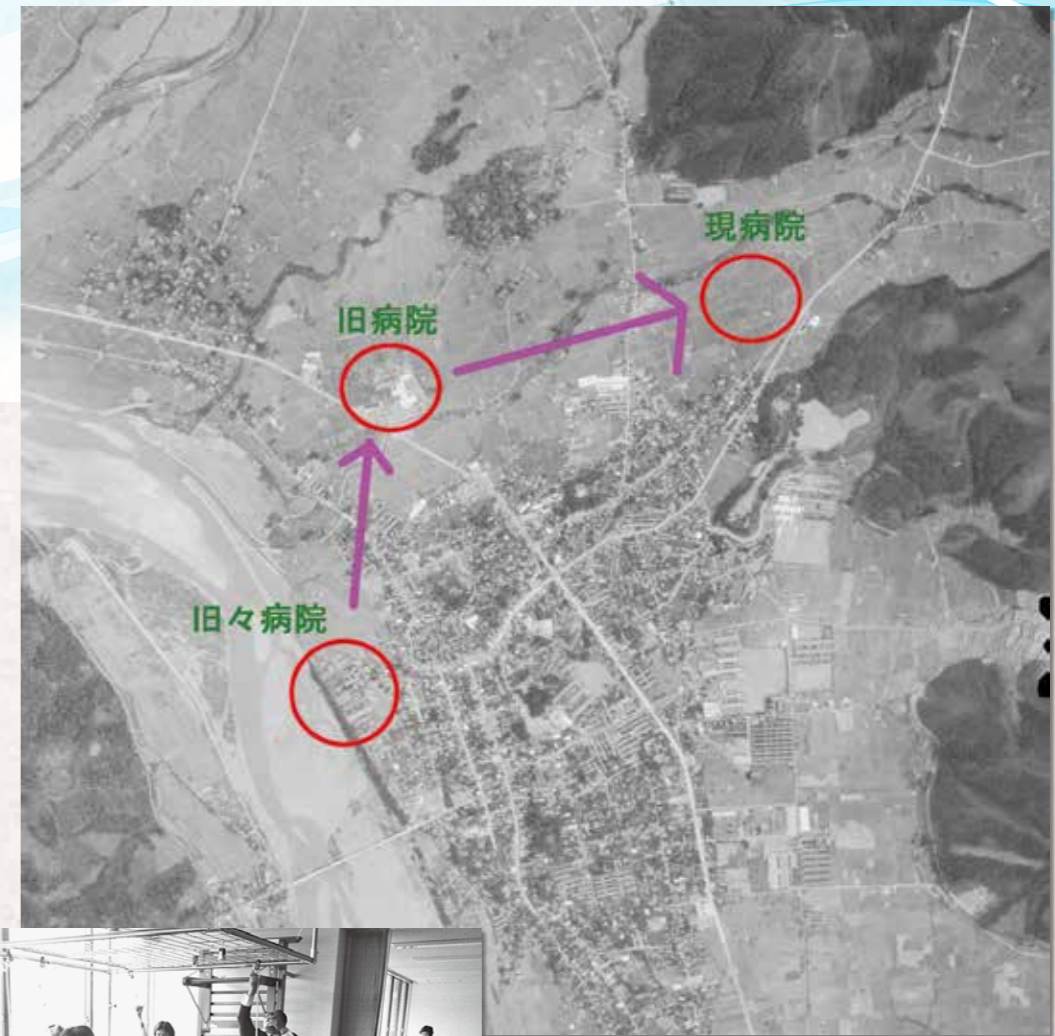
良質で安心な医療・介護を提供します  
真心と笑顔で接します (Heart & Smile)  
地域医療、地域包括ケアを推進します  
救急医療・回復期医療を充実させます  
ニーズに沿った環境を作ります  
知識と技術の向上をめざし、自己研鑽に努めます  
健全な経営に努めます

# 「勝山病院」は開設80周年を迎えます

昭和21年 2月28日	勝山町立竜東病院を国有化
昭和21年 5月1日	診療開始 一般56床
昭和22年10月17日	勝山町立伝染病棟（木造平屋）を国有化
昭和24年 9月30日	手術・X線棟・医療宿舍増設
昭和24年10月1日	結核病棟開設
昭和26年12月20日	診療本館（木造モルタル平屋）2階増築
昭和33年 9月1日	社団法人 全国社会保険協会連合会経営
昭和38年 3月31日	病院を村岡町郡地籍に移転 鉄筋コンクリート4階建・一部2階建
昭和41年 4月1日	リハビリテーション開始
昭和51年 3月31日	病棟増築（4階病棟東側部分に増築）
昭和52年 4月1日	人工透析開始
昭和57年 1月22日	管理棟増築 手術室・放射線室・診療室改築
昭和58年10月31日	総合病院承認
昭和61年 3月20日	成人病検査センター増築
平成10年 1月1日	災害拠点病院の指定
平成10年 4月1日	勝山社会保険訪問看護ステーション併設
平成11年 4月1日	社会保険勝山病院を福井社会保険病院に 名称変更 第二種感染症指定医療機関の指定
平成11年 5月6日	病院を勝山市長山町地籍に新築移転 福井社会保険介護老人保健施設併設
平成13年 4月1日	病院群輪番制病院（二次救急）の参加
平成20年 4月1日	DPC対象病院指定
平成21年11月1日	電子カルテ導入
平成25年11月	DMA T隊結成
平成26年 4月1日	独立行政法人地域医療機能推進機構 福井勝山総合病院に名称変更
平成26年10月1日	回復期リハビリテーション病棟（41床）開設
平成29年10月11日	病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）取得
令和2年 5月1日	新型コロナウイルス感染症専用病棟開設
令和3年 2月19日	新型コロナウイルスワクチン先行接種開始
令和3年 4月24日	日本人間ドック学会 機能評価 Ver.4 認定
令和4年12月2日	病院機能評価（3rdG:Ver.2.0）更新
令和6年 1月4日	能登半島地震被災地に向けDMA T隊初出動
令和6年10月1日	回復期リハビリテーション病棟を 地域包括ケア病棟に変更



昭和22年11月の航空写真（提供：国土地理院）です。  
旧々病院の病棟群が確認できます。



昭和38年6月の航空写真（提供：国土地理院）です。  
旧病院が移転した直後の写真で旧々病院も同時に確認することができます。



昭和27年1月の勝山病院本館落成（提供：勝山市）



昭和52年のリハビリの様子です。（提供：勝山市）



昭和52年の旧病院の様子です。（提供：勝山市）



平成11年の現病院移転直後の写真です。



平成26年のJCHO発足時の写真です。



# 耳鼻科ナースが伝授する花粉症対策

花粉症とは、植物（スギ、ヒノキ、カモガヤなど）の花粉が原因となって、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのアレルギー症状を引き起こします。日常生活では集中力低下や不眠をもたらし、QOL（生活の質）を低下させます。予防は「吸わない・持ち込まない」が基本です。治療は抗アレルギー薬の早めの服用や、舌下免疫療法が有効です。

## 1、花粉症の主な症状

くしゃみ・鼻水（透明・サラサラ）・鼻づまり・目のかゆみ・涙・充血・異物感・皮膚のかゆみ・喉のかゆみ・頭痛・身体のだるさ・不眠

## 2、生活への影響

- ・生産性の低下：集中力や思考力の低下により、仕事や勉強に悪影響がでる
- ・睡眠の質の低下：鼻づまりで眠れない、夜中に目が覚める
- ・不快感：外出の制限や、1日中続く症状によるストレス

## 3、予防法・対策

花粉を体内に入れない事が鉄則です。

- ・マスク、メガネ（花粉用は更に有効）、帽子を着用する
- ・表面がサラサラした化学繊維の衣類を選ぶ（ウールは避ける）
- ・玄関で服や髪を払い、すぐに手洗い・うがい・洗顔を行う
- ・洗濯物や布団は部屋干しにし、換気は窓を小さく開けて短時間にする、加湿器や空気清浄機を活用する



## 4、治療法

花粉症の治療は主に抗ヒスタミン薬や点鼻・点眼薬による薬物療法（対症療法）が一般的で、飛沫開始前からの服用が効果的です。また、根本治療としてスギ花粉・ダニには「舌下免疫療法」があります。

**薬物療法（対症療法）症状を抑える為の治療です。**

- ・飲み薬：抗ヒスタミン薬が主流、眠気が少ないもの（第二世代）が増えている
- ・点鼻薬：鼻づまり、鼻水に効果的、ステロイド点鼻薬が効果が高い
- ・点眼薬：目のかゆみに使用

花粉飛散の1～2週間前（または症状の軽い初期）から飲み始めると効果的です。

**根本的な治療（アレルギー免疫療法）**

原因となるアレルゲンを少量から体内に入れて3～5年かけて体質改善を目指す治療です。

- ・舌下免疫療法：スギ花粉、ダニに有効。自宅で毎日服用できる方法です。

JCHO福井勝山総合病院へ、オンラインでクレジットカードによるご寄附が可能となりました。  
詳しくは福井勝山総合病院トップページの最下部「ご寄附のお願い」をクリックしていただくか、  
右記QRコードからアクセスをお願いいたします。



### 患者さんの 権利と責務

#### 患者さんの権利

- 1 質の高い医療を平等に受ける権利  
患者さんは、安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 2 十分な説明を受ける権利  
患者さんは、ご自身が受ける診療内容について、理解できるまで十分な情報提供とわかりやすい説明を受ける権利があります。
- 3 診療方針について自己決定する権利  
患者さんは、自己の納得と自由な思想に基づき、医療行為に「同意」し「選択」し、あるいは「拒否」する権利があります。また、他の医療機関での意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 4 個人情報保護される権利  
患者さんは、当院の個人情報保護指針に基づき、個人情報が保護される権利があります。

#### 5 個人としての尊厳が守られる権利

患者さんは、いかなる状態にあっても、人格が尊重され尊厳が守られる権利があります。

#### 患者さんの責務

- 1 医療に積極的に参加し、より良い治療を行うため医療従事者と良好な関係（パートナーシップ）を構築してください。
- 2 社会一般的なマナーを守り、他の患者さんの診療に支障をきたすことのないようご配慮ください。
- 3 当院で定められた規則をお守りください。
- 4 ご自身の健康状態に関する情報を出来るだけ正確にお伝えください。
- 5 受けた医療に対しては診療費をお支払いください。

病院公式インスタはコチラ



独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO福井勝山総合病院

〒911-8558 福井県勝山市長山町2丁目6番21号  
TEL (0779) 88-0350(代) FAX (0779) 88-3739  
Eメール: main@fukui.jcho.go.jp

